

目的 男子服設計に際し頸部形態をとらえ作図上の基礎データとあることを目的とし、20才～59才にわたる成人男子の頸部について詳細な身体計測を行った。先づ形態を把握し年齢による形態の変化、さらに肩部形態との関連について考察を試みた。

方法 20才代～40才代、各200名、50才代100名、計700名の頸部に関係のある計測値身長・外後頭結節高・頸椎高・頸溝高・頸窩高・頸側高・肩先高・背肩幅・胸幅・頸付根横径・頸付根前後径・胸囲・頸付根囲・頸囲A・頸囲B・後衿ぐり・越肩の長さの計17項目、それ等を組合せた計算値および示数値をもとに考察した。

結果 1). 成人男子の頸部形態は、若年男子は頸付根部が大きく上部頸囲との差がある円錐型の形態を示し、加齢にしたがって円柱型の形態に変化してゆくようである。
2). 頸部の長さについては、後頸部・前頸部とも加齢により短くなる傾向がみられる。
3). 肩部形態と頸部形態との関連において影響のみられる項目は、頸部の長さに関する計算項目、太さに関する計算項目、頸付根部の形態に関する示数項目であり、肩部形態による頸部の形態変化がみとめられる。